

取扱説明書

このたびはハッコーシーラーFV-801をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書をお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、後日お役に立ちますので、大切に保管しておいてください。

△注意：ハッコーシーラーFV-801を持ち運ぶ際は、ハンドル部のみを持たないように注意してください。

1. セット内容

まず最初にセットの内容をご確認ください。

本体.....	1	粘着テープ	2
溶着用ヒーター(5mm幅).....	1	絶縁シート	2
溶断用ヒーター(φ0.8mm)	2	取扱説明書	1
フッ素樹脂テープ.....	2		

2. 仕様

電 源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	800 W
シール寸法	5 × 350 mm (MAX)
外形寸法	120 (D) × 350 (H) × 500 (W) mm
重 量	8 Kg

※ 工場出荷時は溶着でセットされています。
 ※ 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

3. 安全及び取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- △警告：**誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- △注意：**誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的のみが発生が想定される内容を示しています。

● 安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

△警告

使用されるコンセントが取扱説明書の「2. 仕様」に掲載している電圧、電力がとれることを確認してから使用してください。
 タコ足配線、延長コード(コードリール)を使用されますと機械が正しく動かないばかりか火災の危険性があります。
 規定電圧以外の電源に接続すると機械故障、ブレーカOFF、火災など思わぬ事故が発生する危険があります。また、電源プラグは根元まで差し込んでから使用してください。

- 取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。
- 本体のシール部分は、ランプが点灯している間加熱され高温となっています。また、ランプが消えてからもしばらくは余熱で熱くなっています。やけどの恐れがありますので、シール部分には絶対に手を触れないでください。
- 連続使用の場合は、15秒サイクル以上の間隔で使用してください。15秒サイクル以上の間隔をとらないで連続使用すると、火災などの恐れがあります。
- フッ素樹脂テープから煙や炎が発生した場合は、速やかにハンドルを押さえるのをやめて、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 感電の危険がありますので、シール部に金属製の物を差込まないでください。
- 部品交換や修理の時は必ず電源プラグを抜き、冷却してから行ってください。
- 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格がある人に交換してもらい必要があります。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解・修理は行わないでください。また改造は行わないでください。

- **管理責任者の許可なく、経験や知識のない者(子供を含む)が、この製品を使用しないように注意してください。**
- **子供がこの製品で遊ばないように注意してください。**

● 故障や事故につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

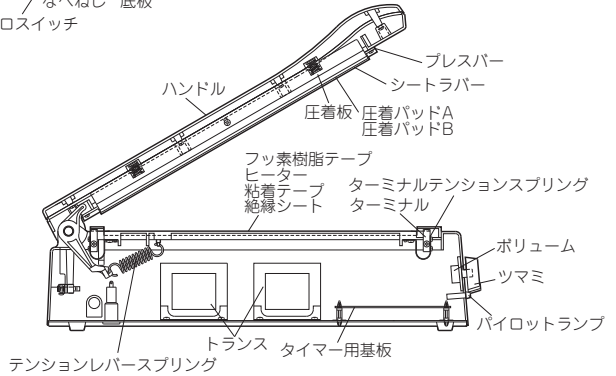
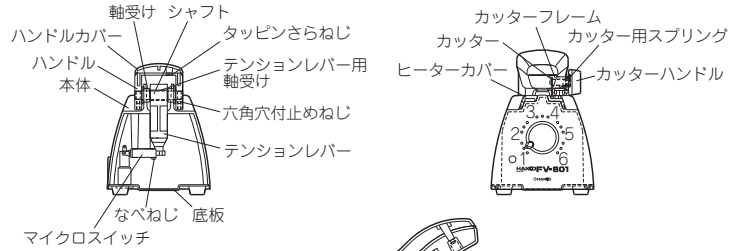
△注意

- 本機の使用目的以外に使用しないでください。
- 電源コードやプラグが痛んでいる、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
- 粉塵が充満している、常温でない、温度が高い場所や熱に弱い敷物の上で使用しないでください。
- 本品を濡らしたり、濡れた手で使用、水物(汁物)の包装には使用しないでください。
- 水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。
- 本品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- ご使用にならない時は電源プラグを抜いてください。
- コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 収納時は本体が冷却された後収納してください。
- 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- 修理技術者によって点検、部品交換を定期的に行ってください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

4. 各部名称

△警告

人体や製品に損傷を与える危険性のある場所には警告・注意文を表示しています。表示が外れた場合は再度表示し直してください。



5. 使用方法

●溶着用

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

△警告

規定電圧以外の電源に接続すると機械故障、ブレーカOFF、火災など思わぬ事故が発生する危険があります。

2. 袋の材質、厚さにより加熱時間調整つまみを調整してください。

△注意

加熱時間調整つまみは袋の材質及び厚さに応じ、なるべく短い時間でご使用ください。(フッ素樹脂テープ、ヒーターの寿命が長くなります。)

3. 袋の口をシール台の上に置き、ハンドルを押下げてください。
4. スイッチが入りパイロットランプが調節した時間点灯し消えます。
5. パイロットランプが消え2～3秒後にハンドルを上げます。パイロットランプが消えてから2～3秒ハンドルを押した状態にしますと、冷却されきれいにシールできます。(冷却が少ないとシールが波になる、シールが弱い等の不完全なシールになります。)

溶着時の加熱調整表

目盛り	材質	ポリエチレン	ポリプロピレン	アルミ蒸着等ラミネートフィルム
1				
2		0.1 mm 以下		
3		0.2 mm 以下	0.06 mm 以下	
4			0.08 mm 以下	0.3 mm 以下
5				0.4 mm 以下
6				

※ 厚さは2枚以上の合計です。電圧、フィルムの材質によって多少変動します。

△注意

長時間使用されますとシール部の温度が上昇し、シール条件が変わります。加熱時間を短めに調整しなおしてお使いください。

△注意

本品を短いサイクルで連続使用しますと故障の恐れがあります。連続使用の場合は15秒サイクル以上の間隔でご使用ください。15秒サイクル以上の間隔をとらないで連続使用すると、火災などの恐れがあります。

△注意

水物(汁物)の包装には使用しないでください。

●溶断用

【注記】

工場出荷時は溶着用のヒーター(5mm幅)が付いています。ヒーター交換方法に従い、ヒーターを交換してください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

△警告

規定電圧以外の電源に接続すると機械故障、ブレーカOFF、火災など思わぬ事故が発生する危険があります。

2. 袋の材質、厚さにより加熱時間調整つまみを調整してください。

△ 注意

加熱時間調整つまみは短い時間からテストし、材質及び厚さに応じなるべく短い時間でご利用ください。

加熱時間調整つまみを4以上でご利用されますと圧着パッド、フッ素樹脂テープ、ヒーター消費が激しくなります。

- 3. 袋の口をシール台の上に置き、ハンドルを押し下げてください。
- 4. スイッチが入りパイロットランプが調節した時間点灯し消えます。
- 5. パイロットランプが消え2～3秒後にハンドルを上げます。
パイロットランプが消えてから2～3秒ハンドルを押しした状態にしますと、冷却されきれいにシールできます。
(冷却が少ないとシールが波になる、シールが弱い等の不完全なシールになります。)

△ 注意

長時間使用されますとシール部の温度が上昇し、シール条件が変わります。加熱時間を短めに調整し直してお使いください。

△ 注意

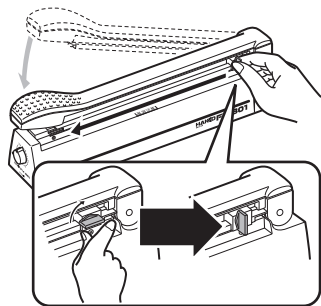
本品を短いサイクルで連続使用しますと故障の恐れがあります。連続使用の場合は15秒サイクル以上の間隔でご利用ください。15秒サイクル以上の間隔をとらないで連続使用すると、火災などの恐れがあります。

△ 注意

水物(汁物)の包装には使用しないでください。

●カッターの使用方法

- 1. ハンドルを押えてください。
ハンドルを押える力が弱いとカッターが対象物に届かず切れないことがあります。
- 2. カッターハンドルを90°回し、カッターフレームをスライドさせてください。(右図参照)
- 3. カッターハンドルから手を離してから、ハンドルを上げてください。(右図参照)



△ 注意

カッターハンドルから手を離すとカッターが収納されます。この時、指などを切る恐れがあります。十分に注意して作業を行ってください。

△ 注意

カッターフレームのすべりが悪い場合は、シリコン系のグリスを塗布し、すべりを良くした状態でご使用ください。

6. 保守

△ 注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

△ 注意

交換部品には、純正部品を使用してください。

●フッ素樹脂テープの交換

- フッ素樹脂テープは熱により消耗しますので下記の方法で取り替えてください。
- 1. ヒーターカバーを止めているねじ6本をはずし、ヒーターカバーを取りはずしてください。
- 2. 消耗したフッ素樹脂テープをはがしてください。
- 3. 新しいフッ素樹脂テープを貼りつけてください。
- 4. ヒーターカバーを取り付けてください。

●ヒーターの交換

- ヒーターが断線しましたら下記の方法で取り替えてください。
- 1. フッ素樹脂テープの交換方法によりフッ素樹脂テープをはがしてください。
- 2. 断線したヒーターを取りはずしてください。

△ 注意

粘着テープ、絶縁シートを確認してください。消耗していたら同時に交換してください。

- 3. 新しいヒーターを後部のターミナルに端子ねじで固定してください。
ヒーター端子が上にくるようにしてください。
- 4. もう一方のヒーター端子にターミナルを引き寄せ、端子ねじで固定してください。

△ 注意

導通不良にならないよう、ねじをしっかり締め付けてください。

- 5. その上にフッ素樹脂テープを貼り付けてください。
- 6. ヒーターカバーを取り付けてください。

●粘着テープ、絶縁シートの交換

△ 注意

ヒーターの下側にある粘着テープ、絶縁シートが消耗したまま使用しますと、ショートする恐れがあります。

- 1. ヒーターカバー、フッ素樹脂テープ及びヒーターを取りはずしてください。
- 2. 消耗した粘着テープ、絶縁シートを取りはずしてください。
- 3. シール台に残った粘着のりを落としてください。(シールに悪影響が起きます。)
- 4. 新しい絶縁シートをシール台からずれないように注意してのせてください。
- 5. 新しい粘着テープを貼ってください。
- 6. ヒーター、フッ素樹脂テープ、ヒーターカバーを取り付けてください。

●圧着パッドの交換

- 1. ハンドルを上へ持ち上げます。
- 2. 圧着板から圧着パッドを手で抜き取ります。
- 3. 取り付ける時は、端から順に手で圧着板に取り付けてください。

●シートラバーの交換

- 1. ハンドルを上へ持ち上げます。
- 2. プレスバーからシートラバーを手で抜き取ります。
- 3. 取り付ける時は、端から順に手でプレスバーに取り付けてください。

●カッターの交換

△ 注意

カッターで指を切る恐れがあります。十分に注意して交換作業を行ってください。

- 1. ハンドルを持ち上げてください。
- 2. ハンドルについているプレスバーを取りはずしてください。
- 3. カッター組品(カッターフレーム、カッターハンドル、カッター)をハンドルから取りはずしてください。
- 4. カッターを止めているねじをはずし、カッターを取りはずしてください。

△ 注意

カッターフレームからカッターハンドルをはずさないようにしてください。

- 5. カッターハンドルのシャフトとカッターの穴を合わせて取り付けてください。
上記と逆の順序で組み立ててください。

7. 点検方法

△ 注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

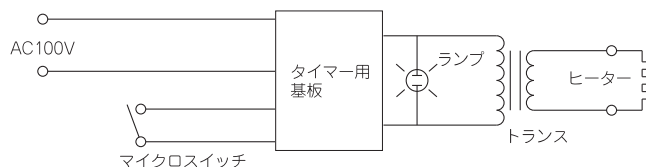
故障箇所	原因	修理方法
ランプ及びヒーターに電気が来ない	電源コードの断線	※コード交換
	ヒューズ切れ	※ヒューズ交換 原因を取りのぞいてください。
	タイマー回路不良	※タイマーユニット交換
	マイクロスイッチ不良	※マイクロスイッチ交換
ランプは点灯するがヒーターが熱くならない	ヒーターの断線	ヒーター交換
ランプが点灯したままでヒーターが加熱しすぎる	タイマー回路不良	※タイマーユニット交換
	マイクロスイッチ不良	※マイクロスイッチ交換
ヒーター及びフッ素樹脂テープの寿命が短い	シール時間が長過ぎる	シール出来る最小目盛にする
	冷却時間が短い	冷却時間を長くする

※ご面倒ですが弊社にお問い合わせください。

8. 交換部品

品番	部品名	仕様
A1527	ヒーター / 溶着用	5 mm × 350 mm 5本入
A1528	ヒーター / 溶断用	φ0.8 mm × 350 mm 5本入
A1530	フッ素樹脂テープ	ヒーターカバー用 5枚入
A1531	粘着テープ	ヒーター保護用 5枚入
A1529	絶縁シート	5枚入
A1532	圧着パッドA(内側)	シリコン製
A1533	圧着パッドB(外側)	シリコン製
A1534	カッター	
A1568	パーツセット	ヒーター(2本) 絶縁シート(2枚) フッ素樹脂テープ(5枚) 粘着テープ(2枚) 圧着パッドA(1枚) 圧着パッドB(1枚)

9. 回路図



白光株式会社

https://www.hakko.com

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821